

観光社会資本の事例

テーマ	17世紀の町並みが現存する町		
【施設の状況写真】			
		<p>中世より残る町並。南北310m、東西600mの広範囲な地域に広がる高密度な歴史的市街地。電線が地中化され、交通障害が解消され、道路の美装化により町の景観が向上した。</p>	<p>町への入口は往時 9 つの門。四方に環濠をめぐらせた武装都市であったことをうかがわせる。</p>
【施設の利用写真】			
		<p>今井町へは、毎年10万人を越える来訪者があり、5月には、「今井町並み散歩」を開催するなど、多くの観光客を呼び込んでいる。</p>	<p>秋祭りには地元住民によるだんじりが町中を練り歩く。</p>
【観光資源としての利用状況】			
<p>橿原市今井町は、江戸時代の町割り(道路網)を残し、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている地区です。町なかには 9 棟の重要文化財、504 棟の歴史的な建築物が残されており、その中には古家を修理し観光案内施設とされているものや、見学用に建物内を開放している文化財も多数あります。</p>			
<p>近年、景観整備も進められ、毎年 10 万人を越える人が観光目的、建物や町並みの研究目的に訪れています。300 年以上前から残る建物を見て、触れて、古い町並の中に身を置けば、中世にタイムスリップしたかのような思いに浸ることができます。</p>			
<p>また、約 1300 人が住み、古い伝統を守り続け、今に受け継がれている「生きた文化財」の宝庫でもある今井町では、住民の意識も高まりつつあり、今井まちづくりセンターを中心に、来訪者をもてなす取り組みも根付きつつあります。今後も増加が見込まれる来訪者に、どのように地域の魅力を伝え、町づくりに協力してもらえるか、橿原市と住民団体等と一緒に考え始めています。</p>			

テーマ	17世紀の町並みが現存する町		
【社会資本の基礎データ】			
名称	今井地区		
所在地	奈良県橿原市今井町		
事業名	身近なまちづくり支援街路事業	事業名	街なみ環境整備事業
事業主体	橿原市	事業主体	橿原市
事業期間	平成元年～平成22年	事業期間	平成6年～平成21年
【社会資本の役割・効果】			
街路整備			
地区内細街路のカラー舗装化により歴史的景観形成に寄与し、周辺補助幹線道路を整備し、地区内細街路への通過交通を排除させている。また、来客者のアクセス道路、駐車場を整備し、観光バス等の乗り入れによるスムーズなアクセスが出来るようになる。			
街なみ環境整備			
橿原市今井町内には、重要文化財9件、県指定文化財3件、市指定文化財6件が指定され、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。このように歴史的に意義をもつ地区であるため、歴史的環境の保存と、住環境整備の共生を図りながら、街なみを整備する必要があった。今井町は、その「街なみ環境整備事業」の中で優秀な事例の一つといえる。今後、町に広がっている民間の建築活動とも歩調を合わせて、より良い街なみ環境の向上に期することを第一優先としてまちづくりを考えている。			
【位置図】			
 <p>行政機関 ○ 市庁 ○ 町役所・町村役場 ● 県境合庁舎</p> <p>交通のご案内 ● 近鉄大阪線大和八木駅下車 徒歩10分 ● 近鉄橿原線八木西口駅下車 徒歩5分 ● JR桜井線敵傍駅下車 徒歩8分 ● 高速道路西名阪郡山インターから国道24号線で約30分</p>			
【関連ホームページ】	橿原市ホームページ http://www.city.kashihara.nara.jp/		